

シスアドの扉を開く！京都研修会2007

**わかる！上級シスアド試験対策のポイント
～ゼロから合格した私の方法～**

上級システムアドミニストレータ連絡会正会員

田中 宏幸

2007/07/29

上級シスアド合格までの道のり

- **ゼロからの出発**
- **書けない！わからない！時間がない！**
- **一大転機！上級シスアドセミナー**
- **私の「上級シスアド合格作戦」**
- **受験したことで得られたメリット**

ゼロからの出発

- 私立大学の情報システム部門に勤務（事務職員）
- シスアド業務にようやく慣れてきた「若手の一職員」
- プロジェクトリーダー経験ほとんど無し
- 初級シスアド（2001年）、情報セキュアド（2003年）に合格
「次は上級シスアドだ！」・・・と密かにあこがれる
- 2006年、上級システムアドミニストレータ連絡会（JSDG）に
準会員として入会
- しかし、上級シスアド試験の午後IIで論文試験があることを
知り、受験をあきらめていた（論文アレルギーでした…）

上級シスアド＝無理！ という思い込み

書けない！ わからない！ 時間がない！

■ 昨年7月の私の状態は・・・

①書けない！

- 午後11の小論文が3200字も書けない！

②わからない！

- シスアド業務を深く考えたことがない
- 業務改善のプロジェクトリーダー経験が乏しい
⇒ 何を書いてよいのかわからない！

③時間がない！

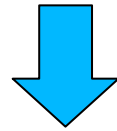
- 仕事が忙しくて勉強時間がない！
- 2時間という短時間で小論文なんて書ききれない！

上記のとおり、「3無い状態」でした

一大転機！上級シスアドセミナー

- 3 無い状態の私に訪れた転機
昨年7月開催の本セミナーに参加（司会を担当）

セミナー準備では、周囲の合格者（=JSDG会員）から
「勉強すれば必ず合格できるよ！」という激励を受ける



メンタルブロック（心の壁）の克服
だんだん自分も合格できる気分になってきた・・・よし！

上級シスアド受験＆一発合格を決意

（無謀にも・・・）

私の「上級シスアド合格作戦」①

■ 基本方針

- 短期間・低予算で「知識・考え方・表現力」を習得
⇒ 過去問を中心に1冊の問題集を繰り返して解く
- 時間を計って解答し、試験の時間感覚を体得する
- 自分に合った問題集を選ぶ（解説がわかりやすいもの）

■ 午前対策

- 過去問題3年分を「3周」解く
2周目以降は、間違えた問題のみ解く
- ジャン先生の「宿題メール」で新しい知識を補完
- 完璧な理解は求めず、直観的に解けるようにする

私の「上級シスアド合格作戦」②

■ 午後Ⅰ対策

過去問題3年分を「3周」解く（午前と同様）

【1周目】

- とにかく解答してみる（ほとんど解答できない）
- 解答を読み、必ず書き写す（読むだけでは効果が薄い）
- 解説を読み、考え方・表現を理解する

【2周目、3周目】

- 試験当日は90分で3問解答する必要がある
= 1問あたり20～25分で解答できるようトレーニング
キッチンタイマーで時間を計りながら解答

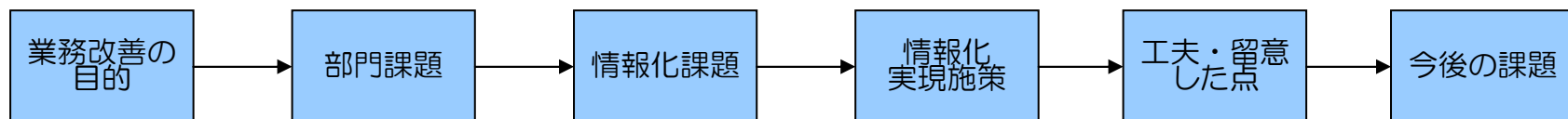
午前・午後Ⅰは直観的に解答できるようになるまで
解く練習をする

私の「上級シスアド合格作戦」③

■ 午後II対策 【基礎】

- ① 「何を書いていいのかわからない」を解消する
 - 問題集・過去問題の模範論文をまず読む
(情報化課題に対する「施策・工夫」に注目しながら)
 - 模範論文を一字一句書き写す

- ② 「自分の経験不足」を補う…業務経歴の棚卸
 - キーワード関連図を描き、自らの業務経歴を整理



- ③ 応用できる模範論文を探す
 - ②の関連図を見ながら、①の論文の中で自分の経歴に近いものを選ぶ
 - その論文を、自分の経歴にアレンジして書き写す

私の「上級シスアド合格作戦」④

■ 午後II対策 【応用】

④問題文の趣旨、意図を見つける

- 問題文中の「重要表現」をピックアップする
例) 「○○を明確にする」「××が望ましい」
「△△をする必要がある」etc...
- 設問中の「～について述べよ」にも着目する

⑤章立てトレーニングを行う

- 問題文及び設問ア～ウの指示に沿って、スピーディに章立てできるようにするまで、繰り返し練習する
⇒章立ての素早さが論文の成否を分ける

私の「上級シスアド合格作戦」⑤

■ 午後II対策 【仕上げ】

⑥準備論文を作成する

- 3200字の論文を手書きするのは、非常に疲れる
⇒ 予行演習しておかないと、当日手が痙攣する
- 2時間でどこまで書けるか、時間を計りながら書く
⇒ 予想以上に時間が早く経過して、時間切れになる

⑦上級シスアド試験の求める人物像を理解する

準備論文を採点者の気持ちになって再度読む

⇒ 「**上級シスアドの立場**」で書けているか？

（自分を主人公として、利用者の視点で書く）

受験したことで得られたメリット

幸いなことに、昨年12月、合格証書が届きました。
その後・・・

- 「シスアド業務の重要性・価値」を再認識
 - 他社、他組織での仕事の進め方・苦勞を知った
 - 勉強が仕事に活かせた（特に午後IIの勉強）
 - 今の自分の仕事に対して「誇り・自信」が持てた
- 合格はゴールではなく、スタート
 - 「上級シスアド」という新しい視点
 - 知らないことが多いことに改めて気づく
⇒ 自発的に勉強する習慣が身につく
- 「若手の一職員」から「上級シスアド」へ
「上級システムアドミニストレータ」と名乗れてうれしい（笑）

勉強に役立った書籍・Webサイト

■ 参考書・問題集

上級シスアド合格への道' 07年度版（同友館）

- 基礎から応用まで体系的に学ぶには最適
- 過去3年分の本試験全問題＋解答＋解説付

■ Webサイト

- 合格ノート問題編&午後対策指南
https://www.techno-brain.co.jp/campaign/07_aut_gokaku/smb/
- 宿題メール（ジャン先生）
<http://www.mirai.ne.jp/~suehiro/>
- 上級シスアド連絡会ホームページ
<http://www.jsdg.org/>
- セキュアドドットコム
<http://www.secuad.com/>

ご清聴ありがとうございました。